

軽声語ノート

— 三音節語を中心にして —

遠藤 由里子

I.

中国語^①は声調言語であるといわれる。声調は中国語において、語構成上、重要な要素を成しているからである。しかし、単語あるいは文の中のある音節がその固有の声調を失い、比較的軽く短く発音される現象がある。その現象を軽声という。^②

軽声は、文法的な場面に現れる軽声と、語彙的な軽声とがある。文法的な場面に現れる軽声とは、

- 1) 語気助詞 “吗、吧、呢、啊” など
- 2) 構造助詞 “地、得、的” など
- 3) 動態助詞 “了、着、过” など
- 4) 名詞・代名詞接尾辞 “子、头、巴、么、们” など
- 5) 趨向動詞 “(出)去、(回)来、(跑)出去” など
- 6) 方位接尾辞 “上、下、里、面、边” など
- 7) 重ね型動詞の第二音節

などが主なものであり、いずれも文や単語の付属成分であり、常に軽声に読まれる。

一方、語彙的な軽声は文法的な場合とは異なり、強い法則性というものがある認められない。^③

軽声は二音節単語の後ろの音節に多く現れるが、上記の文法的な場面に現れる軽声のように一音節語にも現れ、また三音節以上の語にも現れる。

II-1

中国語の発音基準は『現代汉语词典』（以下『現漢』と略称）^④に拠るべきであろう。よって、軽声語についても『現漢』から拾集し、検討を行うべきであるが、この『現漢』から軽声語と儿化語を集輯した『普通话轻声词儿化词汇编』（以下『汇编』と略称）^⑤を暫時拠り所としたい。

『汇编』では、『現漢』から軽声語を取捨選択する際の基準を以下のように定めている。

1. “子、头、们”などの接尾辞がついたもの、重ね型名詞、A里AB型となるような規則的に現れる軽声語は採用しない。

例：桌子、石头、我们、调调、花里胡哨。

2. 常用されない語は除く。例：爱窝窝。^⑥

3. 既出の軽声語を含む語は、同じく軽声である場合は採用しない。

例：“招女婿”の“婿”は既出“女婿”の“婿”と同じく軽声であるため“招女婿”は載せない。^⑦

4. 『現漢』で同音同義であるが用字が異なる語の場合、具体的な語義解釈を有する方を採用する。

例：“糟踏”と“糟蹋”は同音同義であるが、具体的語義解釈を有する後者を採用。

5. 『現漢』で用字は同じであるが、軽声と非軽声では語義が異なる場合、軽声・非軽声両読の語とはせず、軽声の方を採用する。

例：“琢磨”は“zhuó・mo”（熟慮する）を採り、非軽声の“zhuó mó”（彫刻し磨く）は採らない。

以上の基準で『現漢』から選択された軽声語は二音節語 1192 例、三音節語 87 例、四音節語 3 例、計 1282 例である。しかし、これで『現漢』所収軽声語のうち、上記選択基準に適う軽声語を全て網羅しているわけではなく、少なからず遺漏が認められるが^⑧、本ノートでは、『汇编』が選択した 1282 例を軽声語を考察する上での一つの手懸りとし、そのうちの三音節軽声語 87 例がどのような語構成となっているか、若干の考察を行う。

II-2

三音節軽声語において軽声は、第二音節に現れる場合、第三音節に現れる場合、第二・第三音節に現れる場合とがある。以下、軽声が現れる音節箇所

によって三グループに分類し、順に見てゆく。

III.

第二音節に軽声が現れる語

(通し No、漢字表記、ピンイン表記^⑨、語義の順)

01	疤痕眼儿	bā · layǎnr	瞼の傷跡
02	冰激凌	bīng · jīlíng	アイスキャンディー
03	拨浪鼓	bō · langgǔ	でんでん太鼓
04	玻璃钢	bō · ligāng ^⑩	強化プラスチック
05	玻璃丝	bō · līsī	ガラス繊維、ナイロン糸
06	玻璃体	bō · litǐ	ガラス体
07	玻璃纸	bō · lizhǐ	セロファン紙
08	玻璃砖	bō · lizhuān	ガラスタイル
09	大拇指	dà · mǔzhǐ	親指
10	二拇指	èr · muzhǐ	人差し指
11	夹肢窝	gā · zhiwō	わきの下
12	哈巴狗	hǎ · bagǒu	チン (動物)
13	哈什蚂	hà · shimǎ	食用ガエルの一種
14	囫圇觉	hú · lunjiào	一晩ぐっすり寝る
15	落花生	luò · huashēng	落花生
16	名士派	míng · shìpài	自由に生きているインテリ
17	葡萄干	pú · táogān	干しぶどう
18	葡萄酒	pú · táojiǔ	ワイン
19	葡萄糖	pú · táotáng	ブドウ糖
20	山里红	shān · lihóng	サンザシ (植物)
21	少不得	shǎo · budé	少なくなるはずがない
22	势利眼	shì · liyǎn	権力にこびる性質
23	土腥气	tǔ · xīngqì	泥臭い
24	乌拉草	wù · lacǎo	靴の保温用に入れる草
25	稀巴烂	xī · balàn	粉々なさま
26	下意识	xià · yìshí	潜在意識
27	乡巴佬儿	xiāng · balǎor	田舎者

28	小拇指	xiǎo · muzhǐ	小指
29	仰八叉	yǎng · bachā	大の字に寝ること
30	一个劲儿	yī · gejìn	ひたすら
31	油葫芦	yóu · hulǔ	エンマコオロギ
32	杂和菜	zá · huocài	残り物で作ったおかず
33	杂和面儿	zá · huomiànr	大豆を混ぜたトウモロコシの粉
34	中拇指	zhōng · muzhǐ	中指

以上 34 例を造語構成法によって分類すると以下のようになる。

III-1

●○●型：三音節で一形態素のもの（○は軽声音節、●は非軽声音節を示す）

02 冰激凌^⑩

III-2

●○//●型：●○型二音節の後に単音節が接合されたもの

①修飾型 [修飾語//被修飾語]

01 疤痕 // 眼儿	03 拨浪 // 鼓	04 玻璃 // 钢	05 玻璃 // 丝
06 玻璃 // 体	07 玻璃 // 纸	08 玻璃 // 砖	11 夹肢 // 窝
13 哈什 // 蚂	14 囫囵 // 觉	16 名士 // 派	17 葡萄 // 干
18 葡萄 // 酒	19 葡萄 // 糖	20 山里 // 红	22 势利 // 眼
23 土腥 // 气	24 乌拉 // 草	27 乡巴 // 佬儿	30 一个 // 劲儿
32 杂和 // 菜	33 杂和 // 面		

②並列型

25 稀巴 // 烂

●○//●型では、“25 稀巴 // 烂” 以外は全てが修飾型である。また、上記 23 例の二音節部分の第二音節は全てが軽声であるが、そのうち

03 拨浪	11 夹肢	13 哈什	20 山里
23 土腥	25 稀巴	27 乡巴	30 一个
32・33 杂和			

は『现汉』では単語として記載されていない。即ち、それぞれ他の形態素を加えてはじめて単語として単用され、三音節軽声語となる。

14 囫囵	16 名士
-------	-------

は『現漢』ではそれぞれ“húlún”、“míngshì”とピンイン表記され、語義を変えずに非軽声である。他の形態素“覚”“派”が後置され、第二音節が軽声へと変化した。

残り 11 例の二音節部分

01 疤癩 04・05・06・07・08 玻璃 17・18・19 葡萄
22 势利 24 乌拉

は『現漢』では全て二音節軽声語として記載されている。元来が二音節軽声語であるが、単音節を後置することによってそれぞれが三音節軽声語となった。

●○//●型 23 例の語構成による分類は次の通りである。

1. 《二音節部分が単用されない》三音節軽声語：
10 例（修飾型 9 例、並列型 1 例）
2. 《二音節部分が単用される軽声語の》三音節軽声語：
11 例（修飾型 11 例）
3. 《二音節部分が単用される非軽声語の》三音節軽声語：
2 例（修飾型 2 例）

III-3

●//○●型：○●型二音節の前に単音節が接合されたもの

①動賓型 [動作・行為//それに関連する事物]

15 落 // 花生

②動補型 [動作・行為//その結果]

21 少 // 不得 29 仰 // 八叉

③修飾型

09 大 // 拇指 10 二 // 拇指 12 哈 // 巴狗 26 下 // 意识

28 小 // 拇指 31 油 // 葫芦 34 中 // 拇指

●//○●型では、“15 落花生、21 少不得、29 仰八叉”以外は修飾型の造語構成である。

また、この 10 例に含まれている二音節部分は“29 八叉”のみが『現漢』に単語として記載されていない。“仰”を前置することによって単用しうる三音節軽声語である。

“21 不得”は『現漢』に記載されてはいるが、これも動詞を前置しては

じめて機能する補語である。

“31 葫芦”は本来の発音は“hú·lu”、語義は「ヒョウタン」であるが、これに“油”という形態素が加わったことによって発音は“(yóu)·hulǔ”、語義は「油のように光り、ヒョウタンのように腹の太いコオロギ」へと変化した。

“26 意识”は、もともと第二音節が軽声となる二音節軽声語であるが、“下”を前置することによって第一音節が軽声へと変化(“·hulǔ”)した。

09 大//拇指 10 二//拇指 28 小//拇指 34 中//拇指
の“拇指”、“12 哈//巴狗”の“巴狗”、“15 落//花生”の“花生”は『现汉』では非軽声である。即ち、他の形態素“大”“二”“小”“中”“哈”“落”をそれぞれ前置することによって“拇”“巴”“花”が軽声へと変化した。^⑫

●//○●型 10 例の語構成による分類は次の通りである。

1. 《二音節部分が単用されない》三音節軽声語：
3 例（動補型 2 例、修飾型 1 例）^⑬
2. 《二音節部分が単用される軽声語の》三音節軽声語：
1 例（修飾型 1 例）
3. 《二音節部分が単用される非軽声語の》三音節軽声語：
6 例（動賓型 1 例、修飾型 5 例）

IV.

第三音節に軽声が現れる語

35 暗地里	àndì·li	こっそり
36 不见得	bùjiàn·dé	～とは思えない
37 不由得	bùyóu·de	許さない、覚えず
38 布拉吉	bùla·ji	ワンピース
39 场面上	chǎngmiàn·shang	世間、交際の場合
40 车把势	chēbǎ·shi	車夫、御者
41 打交道	dǎjiāo·dao	付き合う、相手にする
42 打埋伏	dǎmái·fu	待ち伏せをする、伏せておく
43 打前失	dǎqián·shi	(馬、ろばが) 前脚をつまずく
44 大师傅	dàshī·fu	僧侶に対する尊称

45	大学生	dàxué · sheng	歳の大きな学生 ^④
46	倒胃口	dǎowèi · kou	うんざりする
47	儿媳媳妇	érxí · fur	息子の嫁
48	灌米汤	guànmǐ · tang	うまい言葉で迷わせる
49	假惺惺	jiǎxīng · xīng	もっともらしい様、偽善的な
50	脚后跟	jiǎohòu · gen	かかと
51	老大娘	lǎodà · niáng	おばあさん
52	老大爷	lǎodà · yé	おじいさん
53	老顽固	lǎowán · gù	頑固者、石頭
54	留地步	liúdì · bu	余裕を残している
55	女主人	nǚzhǔ · ren	奥さん
56	惹是非	rěshì · fēi	物議をかもす
57	撒吃挣	sāyì · zheng	寝言を言う、就寝時に暴れる
58	嫂夫人	sǎofū · ren	友人の妻に対する尊称
59	上年纪	shàngnián · ji	歳をとる、老いる
60	使眼色	shǐyǎn · sè	目くばせする
61	探口气	tànkǒu · qi	探りを入れる、打診する
62	套近乎	tàojìn · hu	関係をつける、とりいる
63	天知道	tiānzhī · dao	神のみぞ知る、誰も知らない
64	铁蒺藜	tiějí · li	レイテツ (植物)
67	小算盘	xiǎosuàn · pan	ケチな算段、身勝手な計算
68	小媳妇	xiǎoxí · fu	若妻
69	小学生	xiǎoxué · sheng	年の若い学生 ^⑤
70	新媳妇儿	xīnxí · fur	花嫁、新婦
71	行方便	xíngfāng · bian	便宜をはかる、融通してやる
72	有意识	yǒuyì · shi	意識している、意識的に

以上 36 例を造語構成法によって分類すると以下のようになる。

IV-1

●●○型：三音節で一形態素のもの

38 布拉吉^⑥

IV-2

●●//○型：●●型二音節の後に単音節が接合されたもの

①付加型

35 暗地 // 里 39 場面 // 上

②並列型

44 大师 // 傅

3例とも二音節部分の第二音節は非軽声であるが、“35 暗地”は『現汉』には記載されず、“39 場面”は“場面上”の場合と同じく非軽声であるが語義は「場面、情況」であり、“44 大师”は語義を変えずに非軽声である。

●●//○型3例の語構成による分類は次の通りである。

1. 《二音節部分が単用されない》三音節軽声語：
 - 2例（付加型2例）^⑩
2. 《二音節部分が単用される非軽声語の》三音節軽声語：
 - 1例（並列型1例）

IV-3

●//●○型：●○型二音節の前に単音節が接合されたもの

①付加型

53 老 // 顽固

②動賓型

41 打 // 交道	42 打 // 埋伏	43 打 // 前失	46 倒 // 胃口
48 灌 // 米汤	54 留 // 地步	56 惹 // 是非	57 撒 // 呸挣
59 上 // 年纪	60 使 // 眼色	61 探 // 口气	62 套 // 近乎
63 天 // 知道	71 行 // 方便	72 有 // 意识	

③修飾型

36 不 // 见得	37 不 // 由得	40 车 // 把势	45 大 // 学生
47 儿 // 媳妇儿	49 假 // 惺惺	50 脚 // 后跟	51 老 // 大娘
52 老 // 大爷	55 女 // 主人	58 嫂 // 妇人	64 铁 // 蒺藜
67 小 // 算盘	68 小 // 媳妇	69 小 // 学生	70 新 // 媳妇儿

上記 32 例にそれぞれ含まれている二音節部分は全て第二音節が軽声であるが、そのうち、

43 前失 57 呸挣

は『現漢』には単語として記載されていない。それぞれ形態素“打”“撒”を前置することによってはじめて単用され、三音節軽声語となる。

46 胃口	49 惺惺	50 后跟	51 大娘
54 地步	56 是非	59 年纪	60 眼色
71 方便			

は『現漢』では全て語義を変えずに非軽声であり、他の形態素を前置することにより、第二音節が軽声へと変化した。残りの 21 例はもともと第二音節が軽声の二音節軽声語である。

●//●○型 32 例の造語構成は次の通りである。

1. 《二音節部分が単用されない》三音節軽声語：2 例（動賓型 2 例）
2. 《二音節部分が単用される軽声語の》三音節軽声語：
 - 21 例（付加型 1 例、動賓型 7 例、修飾型 13 例）
3. 《二音節部分が単用される非軽声語の》三音節軽声語：
 - 9 例（動賓型 6 例、修飾型 3 例）

V

第二・第三音節に軽声が現れる語

65 小姑子	xiǎo · gū · zi	小姑、夫の妹
66 小叔子	xiǎo · shū · zi	夫の弟
73 巴不得	bā · bu · de	切望する
74 大师傅	dà · shī · fu	料理人、コック
75 怪不得	guài · bu · de	責めることはできない、道理で
76 豁出去	huō · chu · qu	思い切ってやる、命がけでやる
77 见不得	jiàn · bu · dé	目にすることができない
78 老人家	lǎo · ren · jia	ご老人、父母
79 了不得	liǎo · bu · dé	ずば抜けている、ひどい
80 免不得	miǎn · bu · de	避けられない
81 舍不得	shě · bu · de	捨てがたい、別れがたい
82 使不得	shǐ · bu · de	使えない、だめだ
83 说不得	shuō · bu · de	言うてはいけな、言うに堪えない
84 要不得	yào · bu · de	貰てはいけな、だめだ
85 药性气	yào · xìng · qi	薬のにおい

- 86 由不得 yóu · bu · de 思うようにならない、思わず～する
 87 怨不得 yuàn · bu · de もっともだ、咎めることはできない
 以上 17 例を造語構成法によって分類すると以下のようになる。

V-1

●○//○型：●○型二音節の後ろに単音節が接合されたもの

①修飾型

85 药性 // 气

二音節部分“药性”は、『现汉』では非轻声であり、単音節を後置することにより第二音節が轻声へと変化した。

V-2

●//○○型：○○型二音節の前に単音節が接合されたもの

①付加型

65 小 // 姑子 66 小 // 叔子 74 大 // 师傅 78 老 // 人家

②動補型

73 巴 // 不得 75 怪 // 不得 76 豁 // 出去 77 见 // 不得
 79 了 // 不得 80 免 // 不得 81 舍 // 不得 82 使 // 不得
 83 说 // 不得 84 要 // 不得 86 由 // 不得 87 怨 // 不得

二音節部分は 16 例中、“66 叔子”のみが『现汉』に単語として記載されていない。“小”を前置して単語として単用され、三音節軽声語となる。

動補型 12 例の二音節部分は『现汉』に“不得 · bu · de” “出去 // · chu // · qū” とピンイン表記されているが、これ等も全てそれぞれ動詞を前置することによってはじめて機能しうる補語である。

65 小 // 姑子 74 大 // 师傅 78 老 // 人家

の二音節部分は『现汉』では“gū · zǐ” “shī · fu” “rén · jiā” とピンイン表記され、本来第二音節が轻声の二音節軽声語であるが、それぞれ“小” “老” “大” の付加により二音節部分が全て轻声の三音節軽声語となった。

●//○○型 14 例の語構成による分類は以下の通りである。

1. 《二音節部分が単用されない》三音節軽声語：
 13 例（付加型 1 例、動補型 12 例）
2. 《二音節部分が単用される軽声語の》三音節軽声語：

3例 (付加型3例)

VI.

以上、軽声出現箇所の相違による三分類を、音節構造の相違によって分類しなおすと以下の通りとなる。

1. 【三音節一形態素】三音節軽声語 (●○●型、●●○型) : 2例
2. 【二音節//一音節】三音節軽声語
 (●○//●型、●●//○型、●○//○型) : 計 27 例
 - (1) 《二音節部分が単用されない》三音節軽声語 :
 12 例 (付加型 2 例、修飾型 9 例、並列型 1 例)
 - (2) 《二音節部分が単用される軽声語の》三音節軽声語 :
 11 例 (修飾型 11 例)
 - (3) 《二音節部分が単用される非軽声語の》三音節軽声語 :
 4 例 (修飾型 3 例、並列型 1 例)
3. 【一音節//二音節】三音節軽声語
 (●//○●型、●//●○型、●//○○型) : 計 58 例
 - (1) 《二音節部分が単用されない》三音節軽声語 :
 18 例 (動賓型 2 例、動補型 14 例、修飾型 2 例)
 - (2) 《二音節部分が単用される軽声語の》三音節軽声語 :
 25 例 (付加型 3 例、動賓型 7 例、修飾型 15 例)
 - (3) 《二音節部分が単用される非軽声語の》三音節軽声語 :
 15 例 (動賓型 7 例、修飾型 8 例)

修飾型ほどの音節構造においても均しく現れているが、中でも二音節軽声語に単音節を接合して作られた三音節軽声語は、この造語法によるものが多い (36 例中 26 例)。

全体的に付加型と並列型が少ないのは、『汇编』の軽声語選択基準「“子、头、们”などの接尾辞がついたもの、重ね型名詞、A里AB型となるような規則的に現れる軽声語は採用しない」でふるいにかけてきたためである。

【一音節//二音節】構造にのみ動賓型と動補型が現れるのは、中国語において単音節動詞の占める割合が圧倒的に高いことの反映であろう。

二音節軽声語に単音節を前置あるいは後置して作られた三音節軽声語が 36 例、非軽声二音節語に単音節を前置あるいは後置して作られた三音節軽

声語が 19 例、計 55 例であるのに対し、【三音節一形態素】構造の 2 例を含め、三音節でのみ単用しうる語は 32 例である。このことから、三音節軽声語は二音節単語あるいは二音節軽声語から派生したものが多数を占める、という傾向を見てとれる。

〔注〕

- ①ここでいう中国語とは、北方語を基礎方言とし、北京語を標準音とする漢民族の共通語である“普通话”を指す。
- ②全ての軽声が「軽く短く発音」されるわけではない。「従来、北京語における軽声音節は、強勢をもつ先行音節に後続する無強勢の音節であるとされてきた。筆者の実験結果によれば、先行音節が陰平、陽平、去声である時はこれに後続する軽声音節は確かに先行音節と相比して弱強勢になる場合もあり、無強勢に近くなる場合もある。しかるに先行音節が上声である時はそれに後続する軽声音節は先行音節よりも必ず強勢をもって発音される」(平井勝利「北京語の軽声音節における音声変化の実験音声学的分析」『中国語学』205号、1970年)。上掲論文は北京語を対象としているが、北京語の発音を標準音としている“普通话”にも当然あてはまる。即ち、先行音節が陰平声(第一声)・陽平声(第二声)・去声(第四声)の場合、軽声音節は弱強勢もしくは、無強勢となるが、上声(第三声)に続く軽声音節は却って、強勢をもって発音される。
- ③一般的に、軽声は古くから常用されてきた使用頻度の高い日常語によく見られ、書面語や新語には軽声はない。しかし、日常語全てが軽声であるというわけではない。他に、若干の重ね型名詞(“妈妈mā・ma、哥哥gē・ge”など)や並列構造の語(“朋友péng・you、清楚qīng・chū”など)にも見られる。
- ④『現代汉语词典』修订本 商务印书馆 1996
- ⑤王群主编『普通话轻声词儿化词汇编』上海出版社 1999
- ⑥主に、『现汉』で〈方〉と注記されている北京方言がそれに当たる。
- ⑦この基準を採用すると、既出の二音節軽声語を含む三音節軽声語は全て除外されることになり、適切な基準とは言えない。しかし、この基準が適用されていない語もある。注⑩参照
- ⑧『汇编』における軽声語の選択基準に合致していても採用されていない語

がある。

例：“愛美的 àiměi · de、罢了 bà · le、保不住 bǎo · buzhù ……” 等

- ⑨『现汉』では、常に軽声で読まれる音節の前に“·”をつける。ただし、通常軽声で発音されるが、時として非軽声で読まれる音節は、声調記号をつけ、その直前に“·”をつける。

例：“01疤痢眼儿 bā · layǎnr”の“la”は常に軽声。

“09大拇指 dà · mǔzhǐ”の“·mǔ”は常に軽声に発音されるとは限らない。

- ⑩“04玻璃钢、05玻璃丝、06玻璃体、07玻璃纸、08玻璃砖”および“17葡萄干、18葡萄酒、19葡萄糖”は『汇编』における軽声語の取捨選択基準3「既出の軽声語を含む語は、同じく軽声である場合は採用しない」と合致しない。
- ⑪この外来語は“冰”（意訳）と“激凌”（音訳）の組み合わせであるが、“激凌”だけでは形態素としても成り立たないため、“冰激凌”で一つの形態素とする。
- ⑫“巴狗”は『现汉』では儿化して“巴儿狗 bāgǒu”と表記される。
- ⑬二音節軽声語“葫芦”に“油”を前置することによって語義が変化した“31 油葫芦”を含む。
- ⑭“大学生 dàxuéshēng”（非軽声）では「大学生」の意。
- ⑮“小学生 xiǎoxuéshēng”（非軽声）では「小学生」の意。
- ⑯ロシア語“πιάTbc”の音訳語で“布拉吉”が一つの形態素であり、分割することができない。
- ⑰“场面”に“上”を後置することによって語義が変化した“39 场面上”を含む。